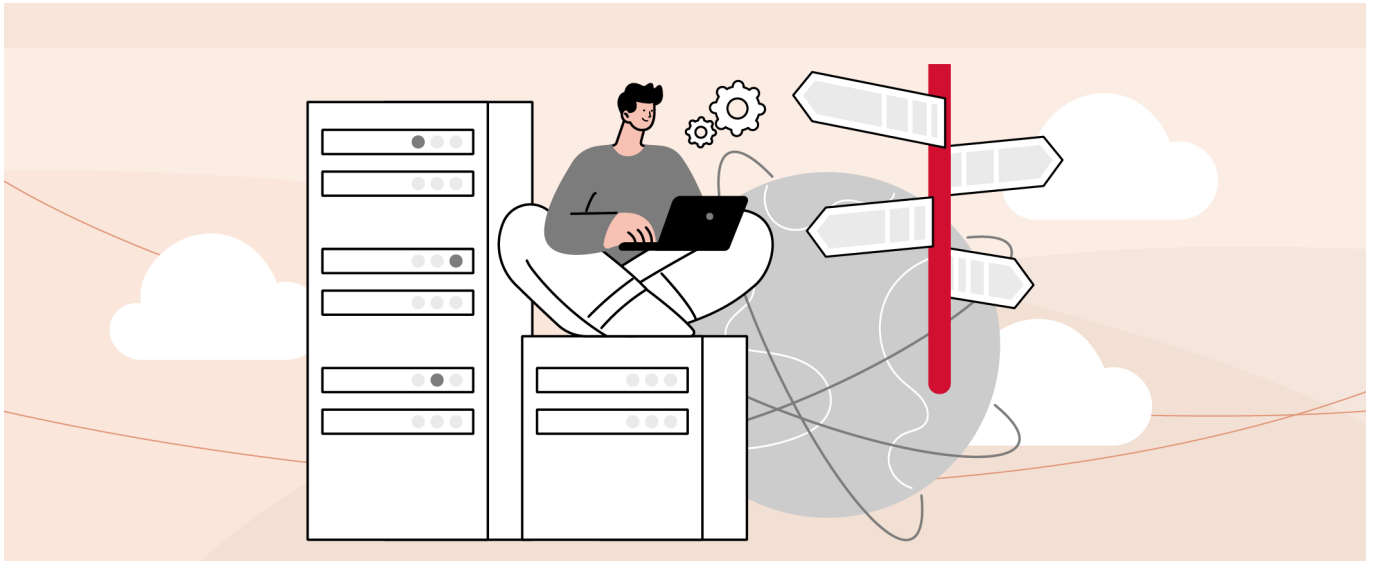




多拠点企業の通信集中を解消し、クラウド活用を止めないネットワークへ

拠点数の増加やクラウド利用の拡大により、企業ネットワークに流れる通信量は年々増加しています。

従来のように、拠点間通信やインターネット通信を一箇所に集約する構成では、特定の時間帯に通信が集中し、Web会議やクラウド利用時に遅延や不安定さが生じるケースも少なくありません。

また、ネットワークとセキュリティを別々に設計・運用している場合、構成変更や拠点追加のたびに調整が必要となり、運用負荷やコストの増加が課題となります。

ここでは、実在の企業をモデルにした想定事例を通じて、**クラウド活用を止めないネットワークの考え方**をご紹介します。

業 種 製造業

規 模 従業員 約800名

拠 点 本社+国内工場・営業所 計12拠点

IT体制 本社情シス数名、各拠点は兼務対応

※本事例は実在の企業をモデルにした想定事例です。

課題

通信を一箇所に集約する構成が限界に

この企業では、拠点間通信およびインターネット通信をすべて本社データセンターに集約するネットワーク構成を採用していました。

しかし、SaaSやクラウドサービスの利用拡大、Web会議の増加、OSアップデートなどにより通信量が増大。特定の時間帯で通信が集中し、業務に支障をきたす場面が増えていきました。さらに、ネットワーク機器とセキュリティ機器を個別に導入・管理していたため、拠点追加や構成変更のたびに設計・設定・調整が必要となり、情シス部門の運用負荷やコスト面での課題も大きくなっていました。

通信が安定しない・インターネットがひっ迫



そこで同社は、ネットワークとセキュリティを一体で提供するNaaS (Network as a Service) という考え方を採用し、ネットワーク構成そのものを見直しました。

docomo business RINK® を活用することで、拠点ごとに最適な通信経路を選択し、クラウドやインターネット通信を分散する構成を実現。通信を一箇所に集約するのではなく、分散させながらも統制の取れたネットワーク環境へ移行しました。

ネットワーク構成の見直しにより、通信遅延や輻輳は大幅に改善。クラウドや SaaS、Web 会議も安定して利用できるようになりました。

また、ネットワークとセキュリティを一元的に管理できるようになったことで、拠点追加や設定変更への対応もスムーズに。情シス部門の運用負荷や調整コストを抑えながら、将来の拡張にも対応できる基盤が整いました。

通信の安定化と運用の効率化を両立

導入後 通信遅延や輻輳は大幅に改善



クラウドやSaaS
Web会議も安定



ネットワークと
セキュリティを
一元的に管理



将来の拡張にも対応
できる基盤を整備

導入効果



- 通信集中による遅延・不安定さの解消
- クラウド／SaaS・Web会議の安定利用
- ネットワークとセキュリティ運用の一元化
- 拠点追加・構成変更時の工数・コスト削減
- 情シス部門の運用負荷軽減



この事例からわかること

通信量が増え続ける現在の IT 環境では、従来の集約型ネットワーク構成では限界が見え始めています。

ネットワークとセキュリティを一体で設計・提供する NaaS の考え方は、通信品質と運用効率、コスト最適化を両立しながら、クラウド活用を止めないネットワークを実現する有効な選択肢です。

docomo business RINK® に関するお問い合わせ

NTTドコモビジネス株式会社

NTTドコモビジネスコンタクトセンター(法人のお客さまからのお問い合わせ窓口)



0120-003300

受付時間 9:00～17:00

※携帯電話からもご利用になれます。土・日・祝日・年末年始は休業とさせていただきます。

サイト www.ntt.com/business/services/rink.html

- 記載内容は2026年7月現在のものです。
- 表記のサービス内容は予告なく変更することがありますので、お申し込み時にご確認ください。
- 複数の商品・サービスを利用される場合には、お手元で計算された額と実際の請求書が異なる場合があります。
- フリーダイヤルのサービス名称とロゴマーク  はNTTドコモビジネスの登録商標です。
- 記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。